

瀬戸中だより 2月

令和8年2月9日
発行 瀬戸中学校
校長 幸路 義文

寒さの中で鍛えることの大切さ

雪が雨に変わるとともに、大地が徐々にうるおい、梅の花も咲き始め、少しずつ様々な色を見せ始めています。小さくても自分の花を咲かせる姿を見ると、春という季節を感じられるようになります。と同時に、時の流れの速さをこれまで以上に感じる季節でもあります。

2学期後半が始まったと思ったのも束の間、あっという間に2月となり、3年生の卒業まで、あと1か月となってしまいました。「時は金なり」という言葉がありますが、一日一日の「一瞬一瞬」を大切に生活することが必要です。とくに3年生にとっては、進路選択をする重要な時期でもあります。この寒さの中で、努力を積み重ねてほしいです。冬の寒さの中で辛抱し、努力することができれば、春にはきれいな花を咲かせることができるでしょう。この厳しい季節だからこそ我慢し、鍛えることに大きな意味があるのです。

2年生長崎・福岡の旅～修学旅行特集～

1月19日(月)～21日(水)に、2年生が2泊3日の行程で修学旅行に行きました。

1日目は、長崎で平和学習がメインでした。平和祈念公園を訪れ、平和祈念セレモニーを行いました。生徒代表が長崎の平和祈念像の前で平和宣言を読み上げ、千羽鶴を奉納し、決意を新たにしました。長崎原爆資料館では、長崎型原爆の模型や被害に遭われた様子の写真や絵、体験記などを見学することができました。また、被爆体験者の今道 忍さん(88歳)からお話を聴かせていただきました。

原爆投下時、爆心地より4.5km離れた自宅で被爆。8歳でした。家族に被害はなかったのですが、数日前に爆心地付近に転居した親友を失いました。終戦直後、米兵隊の長崎上陸を恐れ、家族で約40km離れた郊外の農家へ疎開途中、爆心地を通過して入市被爆をしました。2020年4月にガンを患い、尿管と腎臓一つの摘出手術をしました。余生は若い世代の人々に悲惨な戦争や残虐極まる原爆の実相を訴え、世界のすべての核兵器廃絶と恒久平和の実現のために語っているとおっしゃっていました。私たちの胸に深く刻まれました。

その後、永井隆博士の住まいであった如己堂を見学し、宿泊先であるホテルセントヒル長崎に移動しました。



2日目は、午前中は長崎市内(大浦天主堂・グラバー園)を観光し、自主研修に移りました。班別の自由行動で路面電車等の交通機関を使いながら、各班で長崎市街で事前に計画したコースを巡りました。午後は佐世保市に移動し、ハウステンボスで思いっきり楽しみました。大規模なイルミネーションやアトラクションを体験し、充実した時間を過ごすことができました。2日目の宿泊はザ・パラダイスガーデンサセボでした。各部屋では自主研修やハウステンボスでの出来事について話がはずんでいました。



3日目は、佐世保から福岡に移動し、太宰府天満宮を参拝しました。平日ではありましたが、多くの修学旅行生や観光客であふれていました。友達と一緒に参道沿いにあるお店に立ち寄り、お土産を買ったり、食べ歩きをしたりして楽しむ姿も見えました。生徒たちにとっては、この3日間に見たこと、聞いたこと、肌で感じたことを学習のまとめに役立てるとともに、今後の自分の生活にも生かしてほしいと思います。



〈食育パワーアップ作戦の授業実施！〉

1月27日(火)に2年生と1年生で食育パワーアップ授業を行いました。2年生では徳島県の郷土料理について学習し、「ふしめん汁」「ならえ」についての献立(給食)の一口メモを考案しました。郷土料理の特徴を簡素にまとめる班や食感について語る班もあり、楽しく食について学ぶことができました。



1年生は、朝食を食べることで、体温が上昇したり、学習に集中できることなどを学びました。生徒たちは、実際にバランスの摂れた朝食メニューを考え、食に関する意識が高まりました。

〈中学校入学説明会 & 部活動見学 開催〉

1月28日(水)に、明神小学校6年生のみなさんや保護者の方々をお招きし、入学説明会並びに部活動見学を開催しました。11月にはオープンスクールで体験授業を行ったので、今日は小学校6年生の保護者を交えて中学校の説明会を行いました。中学校での学校運営や学校のきまりについて説明をさせていただいたり、生徒会本部役員から、学校紹介を行ったりしました。普段の授業や楽しい行事の様子、部活動の紹介など、生徒の目線で分かりやすく説明してくれました。

説明会の後、6年生の担任の先生が先導し、各部屋で実施している部活動見学の時間も設けました。たくさんの皆さまのご参加、本当にありがとうございました。

